

令和 8 年度吉野熊野国立公園大台ヶ原防鹿柵点検・補修業務 仕様書

1. 件名

令和 8 年度吉野熊野国立公園大台ヶ原防鹿柵点検・補修業務

2. 業務の目的

吉野熊野国立公園大台ヶ原地区（図 1 参照）において整備している自然再生事業施設のうち、ニホンジカの食害防止のための防鹿柵及び稚樹を保護するための稚樹保護柵は、積雪や暴風雨等による支柱の傾きや傾倒木による破損が発生した場合、柵として求められる機能を十分に果たすことができなくなる。

このため、本業務において、防鹿柵及び稚樹保護柵（以下、「防鹿柵等」という）の点検、危険木の点検、緊急点検、及び補修作業を行うことで、これらの自然再生事業施設の機能を維持するものである。

3. 業務の内容

(1) 業務の対象

別添図①及び②の防鹿柵（大規模 69 基、小規模 26 基）及び③及び④の稚樹保護柵（139 基）を対象とする。なお、大規模防鹿柵の柵同士が接する部分（1 番と 23 番、33 番と 34 番等）については対象外とする。ただし、環境省吉野管理官事務所担当官（以下「担当官」という。）の指示があった場合は点検・修繕作業の対象とする。

(2) 実施時期

防鹿柵及び稚樹保護柵の点検・補修については、春期（4 月頃）と秋期（台風到来時期後の 10 月下旬～11 月）の 2 回実施する。

緊急点検・補修は、大型台風や長雨など突発的な事象が発生した場合など、必要と判断される場合に事前に担当官の指示により実施する。

(3) 防鹿柵及び稚樹保護柵の点検作業

1) 補修に先立って破損状況を確認し、必要な資材、道具を確認するため、点検を実施する。

点検作業実施日については、担当官と協議すること。

2) この際、広範囲にわたる支柱等の損傷、交換が必要となる扉の損傷など、簡易な措置では復旧できない破損箇所を確認した場合は、ロープやネット等によるシカの侵入を防ぐ最低限の応急処置を講じた上で、その状況の写真撮影、必要な資材等の調査を行い、速やかに担当官に連絡すること。なお、点検時に見つけた破損について、簡易な補修（ネットの破れ、簡単な倒木の撤去等）であれば現場判断で補修してもかまわない。

3) 防鹿柵等の破損とは、支柱の折れ・曲がり、ネットのゆるみや破れ、施設への風倒木の傾倒等、シカの侵入を防ぐ機能を損なう恐れのある事象及び柵に設置してある標識プレート等の破損、消失等とする。

4) 防鹿柵等ごとに破損の有無、状況、想定される資材等を点検し、実施後速やかに担当官に

報告すること。報告の様式については、担当官と調整すること。

- 5) 事前点検及び補修作業にあたり、柵内へのシカの侵入が可能なほどの破損又は侵入痕跡を確認した場合には、速やかに担当官へ報告すること。

【参考】作業については春期・秋期あわせて、土木一般世話役が8人日程度、普通作業員が25人日程度による作業量を想定。

(4) 防鹿柵及び稚樹保護柵の補修作業

- 1) 点検等により確認された破損箇所について、針金及びロープ結束によるネットのやぶれ修繕、ゆるんだネットの緊張状態の回復、支柱の傾きの補正、接続部及び固定具のゆるみや脱落の回復、傾倒木の除去、別途支給する FRP 支柱等の交換やアンカーの設置などの措置によって防鹿柵等の機能を回復することができる場合は、2) により支給される資材を用いて、これを行うこと。

作業にあたっては、補修の作業前及び作業後の写真を撮影すること。

- 2) 発注者から支給する資材は、別紙のとおりとする。これを用いた場合は数量を報告すること。
- 3) チェーンソーを使用する場合は必ず防護ズボンもしくはチャップスを着用すること。
- 4) 春季の点検・補修作業が完了次第、危険木点検結果及び補修結果についての報告書を取りまとめ、管理官に提出すること。

【参考】作業については春期・秋期あわせて、土木一般世話役 10 人日及び普通作業員 30 人日による作業量を想定。それ以上の点検・補修作業が発生した場合は契約変更の対象とする。

(5) 緊急点検・補修作業

- 1) 緊急点検は、春期と秋期の通常点検とは別に、業務期間中に大型台風や長雨など突発的な事象が発生し、点検・補修作業が必要と判断される場合に、担当官の指示により、対象防鹿柵や実施日を協議の上、実施する。
- 2) 点検指示の場合は、(3) 点検業務と同じ手順で実施すること。
- 3) 修繕指示の場合は、(4) 補修業務と同じ手順で実施すること。

【参考】作業は土木一般世話役 2 人日及び普通作業員 2 人日による作業を想定。それ以上の点検・補修作業が発生した場合は契約変更の対象とする。

(6) その他

打合せは、2回（春期・秋期それぞれの業務着手前）とする。なお、打合せの実施場所は、環境省 吉野管理官事務所（奈良県吉野郡吉野町上市 2 2 9 4 - 6）とする。

現地作業全般において、大台ヶ原がツキノワグマの生息地であることを十分留意して、クマ鈴の着用等の適切な対応を行うこと。

4. 業務実施期間

自 契約締結日

至 令和9年1月15日（金）

5. 成果物

通常点検及び補修作業、緊急点検・補修作業の実施日、場所(防鹿柵等の位置、番号)、内容(補修作業前後写真及び補修内容、使用資材等)をとりまとめた報告書2部(A4版120頁程度)を提出すること。

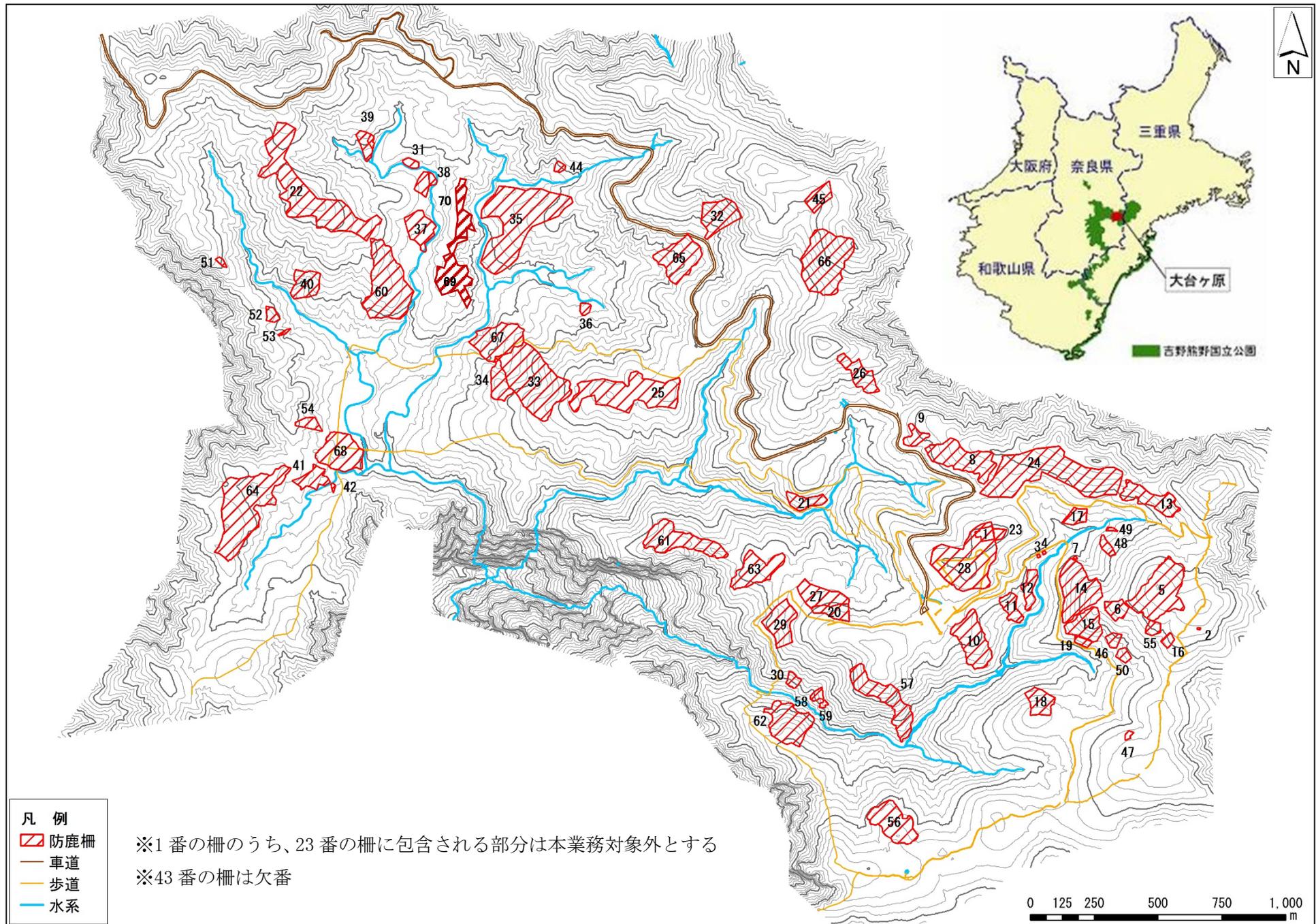
提出場所：環境省吉野管理官事務所

6. その他

- ・ 成果物納入後に請負者側の責めによる不備が発見された場合には、受注者は無償で速やかに必要な措置を講ずること
- ・ 受注者は、本仕様書に疑義や変更が生じたとき、本仕様書により難い事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、担当官と速やかに協議しその指示に従うこと。

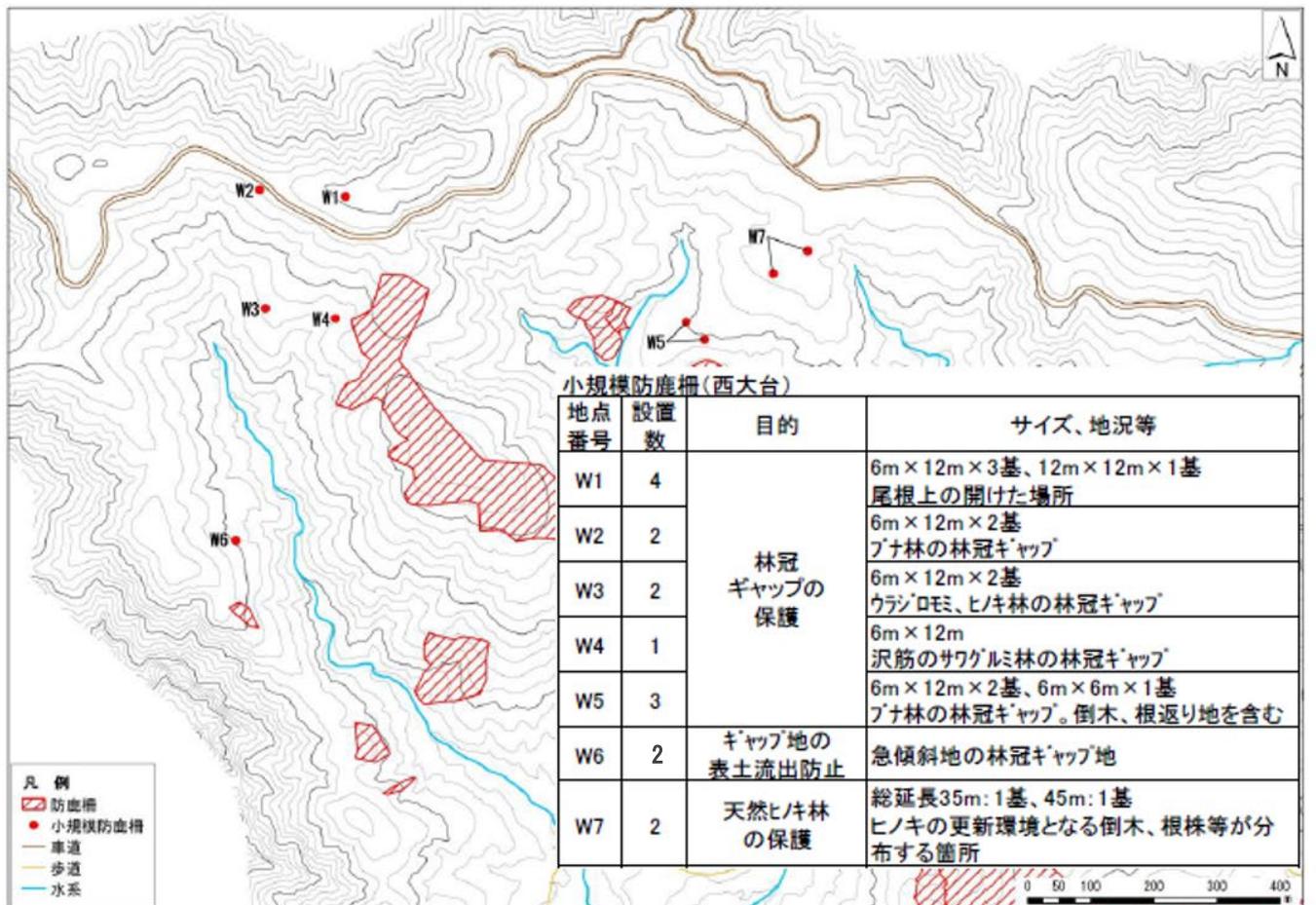
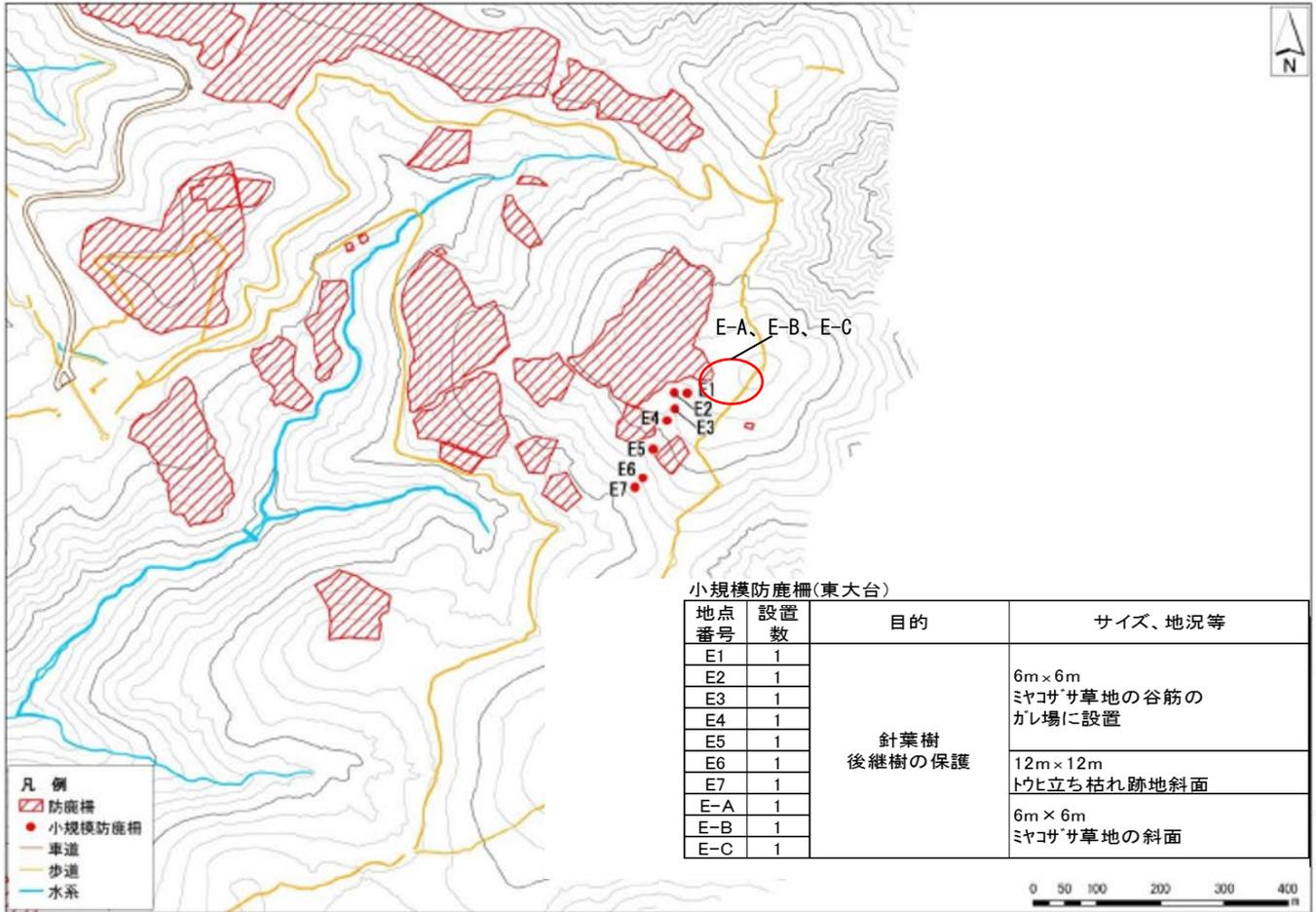
作成日	2026.02.2	作成目的	契約業務起案用
作成担当(係名まで)	吉野管理官事務所	機密性	2
保存期間(〇年)	5年又は10年(事業終了)	備考	

別添図① 大規模防鹿柵位置図



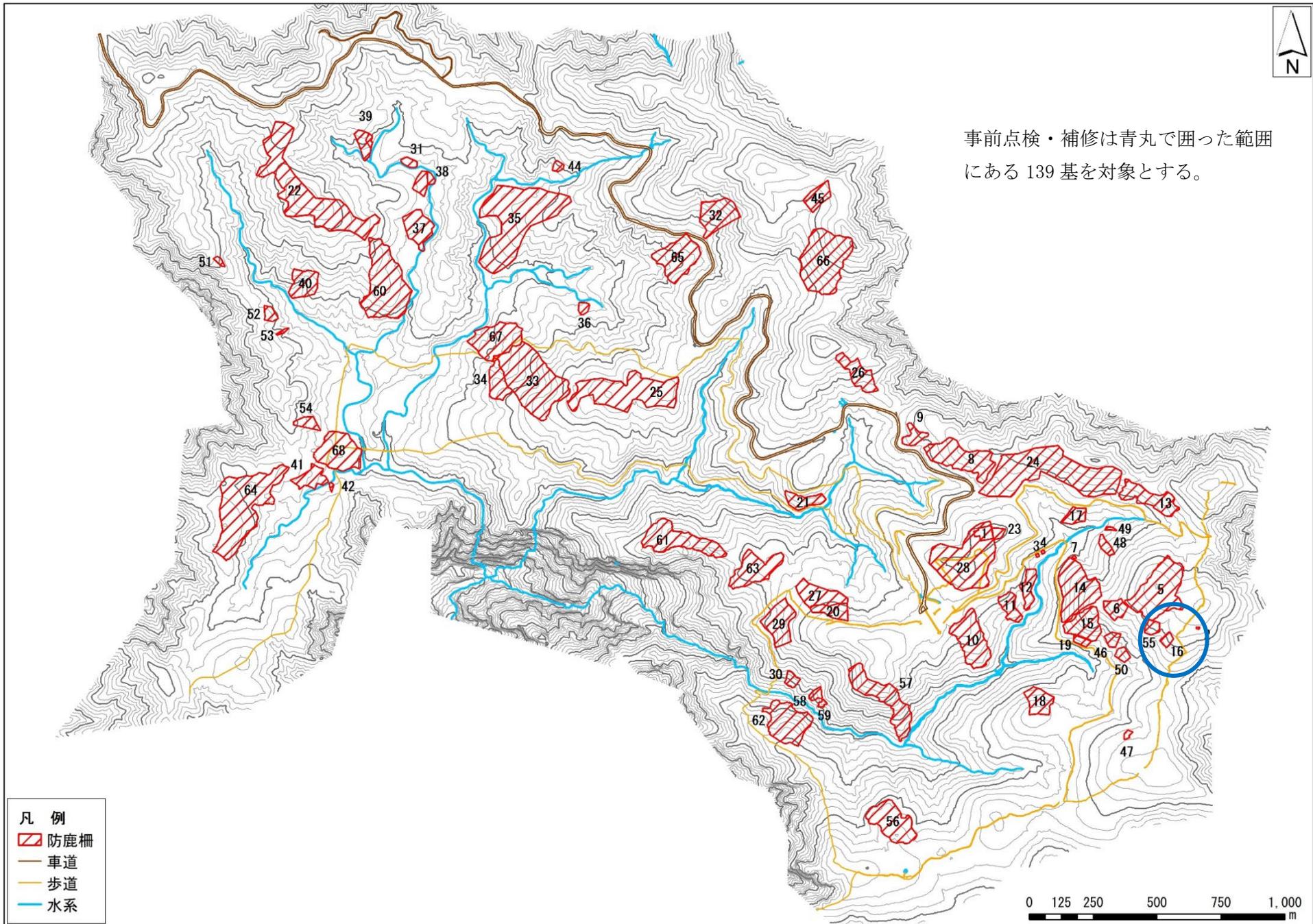
作成日	2026. 1. 19	作成目的	契約業務起案用
作成担当 (係名まで)	吉野管理官事務所	機密性	2
保存期間 (〇年)	5年又は10年 (事業終了)	備考	

別添図② 小規模防鹿柵位置図

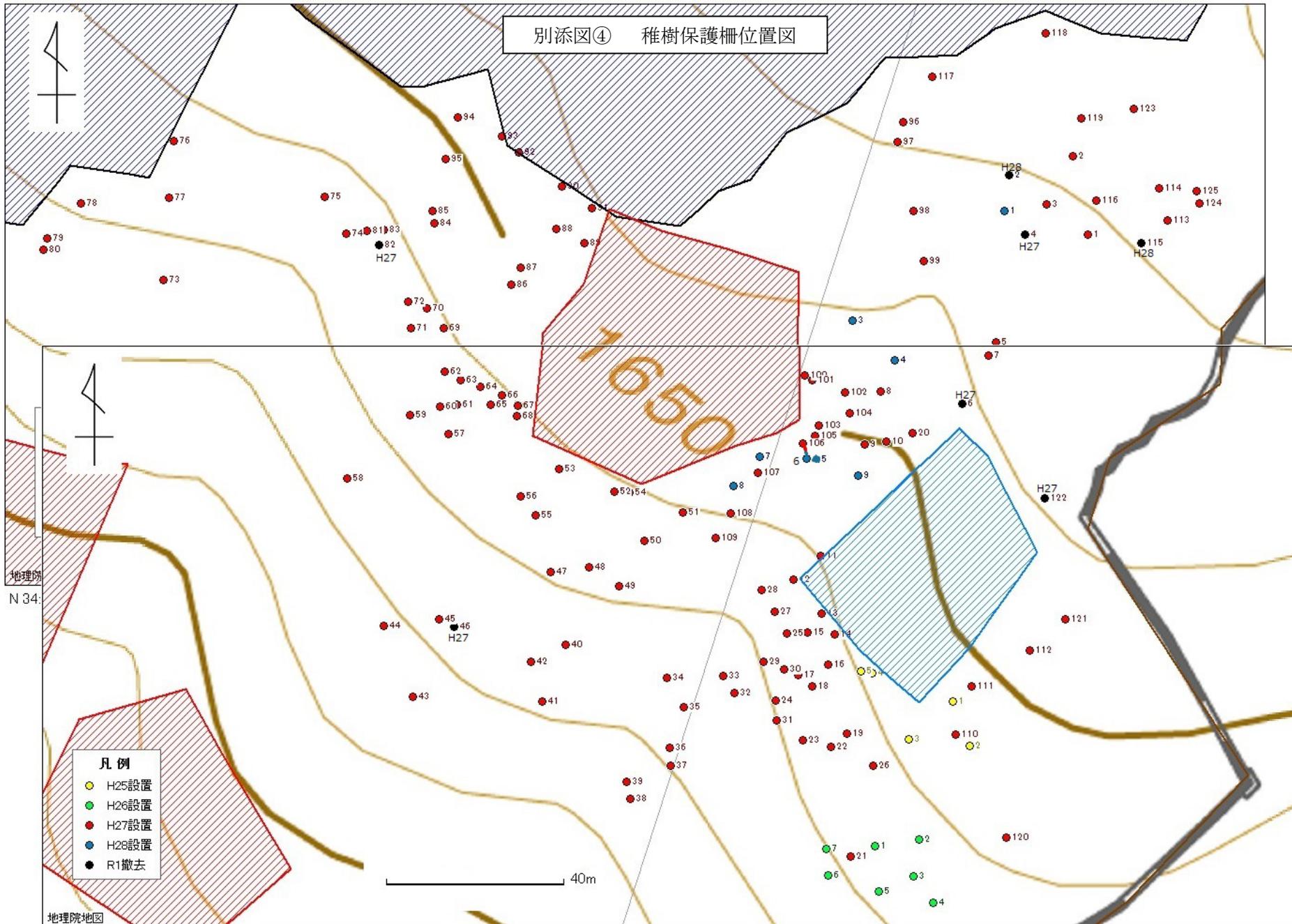


別添図③ 稚樹保護柵位置図

作成日	2026.01.19	作成目的	契約業務起案用
作成担当 (係名まで)	吉野管理官事務所	機密性	2
保存期間 (〇年)	5年又は10年(事業終了)	備考	



別添図④ 稚樹保護柵位置図



地理院
N 34:

79

地理院地図

※H27-4,6,46,82,122, H28-2はR1に撤去。H27-106とH28-6は統合

設置済み防鹿柵一覧(2025年3月まで)

番号	設置年度	目的	面積(ha)	構造種別
1	S62・H3	トウヒ保護	0.30	木柱＋金網
2	S62	トウヒ保護	0.01	ポリ柱＋ポリネット
3	H11	トウヒ保護	0.01	耐雪用格子柵
4	H11	トウヒ保護	0.01	FRP柱＋ステンレス入ネット
5	H12	トウヒ保護	3.08	耐雪用格子柵
6	H12	トウヒ保護	0.50	耐雪用格子柵
7	H13	トウヒ保護	0.01	FRP柱＋ステンレス入ネット
8	H13	トウヒ保護	2.28	耐雪用格子柵
9	H13	トウヒ保護	0.42	耐雪用格子柵
10	H14	トウヒ保護	1.98	FRP柱＋ステンレス入ネット
11	H14	トウヒ保護	0.59	FRP柱＋ステンレス入ネット
12	H14	トウヒ保護	0.57	FRP柱＋ステンレス入ネット
13	H14	トウヒ保護	1.37	FRP柱＋ステンレス入ネット
14	H14	トウヒ保護	2.49	FRP柱＋ステンレス入ネット
15	H14	トウヒ保護	1.23	FRP柱＋ステンレス入ネット
16	H15	自然再生(タイプⅠ(ミヤコササ))	0.17	FRP柱＋ステンレス入ネット
17	H15	自然再生(タイプⅡ(トウヒミヤコササ))	0.43	FRP柱＋ステンレス入ネット
18	H15	自然再生(タイプⅢ(トウヒコケ疎))	0.85	FRP柱＋ステンレス入ネット
19	H15	自然再生(タイプⅣ(トウヒコケ密))	0.17	FRP柱＋ステンレス入ネット
20	H15	自然再生(タイプⅤ(フナミヤコササ))	0.63	FRP柱＋ステンレス入ネット
21	H15	自然再生(タイプⅥ(フナスサタケ密))	0.65	FRP柱＋ステンレス入ネット
22	H15	自然再生(タイプⅦ(フナスサタケ疎))	5.62	FRP柱＋ステンレス入ネット
23	H15	トウヒ保護	0.17	FRP柱＋ステンレス入ネット
24	H15	トウヒ保護	6.02	FRP柱＋ステンレス入ネット
25	H16	下層植生後継樹保護	4.00	FRP柱、木柱＋ステンレス入ネット
26	H17	下層植生後継樹保護	1.02	FRP柱、木柱＋ステンレス入ネット
27	H17	下層植生後継樹保護	1.22	FRP柱、木柱＋ステンレス入ネット
28	H17	トウヒ保護	4.26	FRP柱、木柱＋ステンレス入ネット
29	H18	スズタケ保護	1.41	FRP柱＋ステンレス入ネット
30	H18	スズタケ保護	0.23	FRP柱＋ステンレス入ネット
31	H18	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.17	FRP柱＋ステンレス入ネット
32	H18	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	1.49	FRP柱＋ステンレス入ネット
33	H19	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	4.62	FRP柱＋ステンレス入ネット
34	H19	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.61	FRP柱＋ステンレス入ネット
35	H20	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	5.47	FRP柱＋ステンレス入ネット
36	H20	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.15	FRP柱＋ステンレス入ネット
37	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	1.12	FRP柱＋ステンレス入ネット
38	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.36	FRP柱＋ステンレス入ネット
39	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.56	FRP柱＋ステンレス入ネット
40	H22	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	1.00	FRP柱＋ステンレス入ネット
41	H24	下層植生後継樹保護	0.71	FRP柱＋ステンレス入ネット
42	H24	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.04	FRP柱＋ステンレス入ネット
44	H24	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.13	FRP柱＋ステンレス入ネット
45	H23	下層植生後継樹保護	0.66	FRP柱＋ステンレス入ネット
46	H23	下層植生後継樹保護	0.25	FRP柱＋ステンレス入ネット
47	H23	下層植生後継樹保護	0.07	FRP柱＋ステンレス入ネット
48	H25	下層植生後継樹保護	0.24	FRP柱＋ステンレス入ネット
49	H25	下層植生後継樹保護	0.04	FRP柱＋ステンレス入ネット
50	H25	下層植生後継樹保護	0.22	FRP柱＋ステンレス入ネット
51	H24	下層植生後継樹保護	0.08	FRP柱＋ステンレス入ネット
52	H24	下層植生後継樹保護	0.23	FRP柱＋ステンレス入ネット
53	H24	下層植生後継樹保護	0.04	FRP柱＋ステンレス入ネット
54	H24	下層植生後継樹保護	0.33	FRP柱＋ステンレス入ネット
55	H25	下層植生後継樹保護	0.26	FRP柱＋ステンレス入ネット
56	H25	下層植生後継樹保護	1.90	FRP柱＋ステンレス入ネット
57	H26	下層植生後継樹保護	2.27	FRP柱＋ステンレス入ネット
58	H26	下層植生後継樹保護	0.17	FRP柱＋ステンレス入ネット
59	H25	下層植生後継樹保護	0.06	FRP柱＋ステンレス入ネット
60	H27	下層植生後継樹保護	3.82	FRP柱＋ステンレス入ネット
61	H28	下層植生後継樹保護	2.23	FRP柱＋ステンレス入ネット
62	H29	スズタケ保護	2.08	FRP柱＋ステンレス入ネット
63	H30	下層植生後継樹保護	1.62	FRP柱＋ステンレス入ネット
64	R1	下層植生後継樹保護	3.57	FRP柱＋ステンレス入ネット
65	R2	下層植生後継樹保護	1.94	FRP柱＋ステンレス入ネット
66	R2	下層植生後継樹保護	3.65	FRP柱＋ステンレス入ネット
67	R3	下層植生後継樹保護	1.71	FRP柱＋ステンレス入ネット
68	R4	下層植生後継樹保護	1.99	FRP柱＋ステンレス入ネット
69	R5	下層植生後継樹保護	1.76	FRP柱＋ステンレス入ネット
70	R6	下層植生後継樹保護	0.89	FRP柱＋ステンレス入ネット
小計				
		トウヒ保護	25.31	
		自然再生	8.52	
		下層植生後継樹保護	36.95	
		スズタケ保護	3.72	
		多様性保護	15.71	
合計			90.21	

※43番は欠番

撤去済み防鹿柵一覧(2025年3月まで)

現在撤去済みの防鹿柵

番号	設置年度	撤去年度	目的	面積(ha)	構造種別	撤去理由
	H1	H12	トウヒ保護	0.14	木柱+金網	No.5設置のため
	H4	H17	トウヒ保護	0.03	ポリ柱+ポリネット	No.28設置のため
	H5	H17	トウヒ保護	0.13	ポリ柱+ポリネット	No.28設置のため
	H5	H12	トウヒ保護	0.18	ポリ柱+ポリネット	No.5設置のため
	H7-8	H12	トウヒ保護	0.56	ポリ柱+ポリネット	No.5設置のため
	H7-8	H12	トウヒ保護	0.78	ポリ柱+ポリネット	No.5設置のため
	H8-10	H15	トウヒ保護	7.17	ポリ柱+ポリネット	No.24設置のため
合計				7.17		

